

# 2016年度 プログラミングI 期末試験 通知

以下の通り、プログラミングI 期末試験 (第15回) を実施します。必ず受験してください。

日時：7月20日(水) 10:40~12:10 (90分) \* 試験時間を10分遅延します。

場所：共通教育D棟1F D12番教室

試験範囲：これまで学習した範囲 \* 4月13日から7月13日まで。

- ・コンピュータシステム, 5大機能 (5大構成要素)
- ・2進数・8進数・10進数・16進数・基数変換
- ・補数表現・イクセス表現・シフト演算
- ・固定小数点表示・浮動小数点表示 (IEEE754形式)
- ・ブール代数・論理演算・論理回路 (記憶装置・演算装置・制御装置)
- ・ノイマン型コンピュータ・プログラム内蔵方式・逐次制御方式
- ・機械語・アセンブラ言語・COMET II・CASL II
- ・アルゴリズム・流れ図・計算量・誤差
- ・インターネット・オペレーティングシステム・様々なプログラム言語・コンピュータの歴史
- ・初めてのプログラミング

備考：持ち込み禁止 \* 時計と筆記用具のみ、それ以外の物はカバンにしまっておくこと。

その他の注意事項：

1. 試験に関する指示を10時30分より与える。指示に従わない場合は不正行為とする。
2. 不正行為に対しては厳格に対処する。発覚した場合、全受験者の試験を中止することもある。
3. 再試験は行わない。ただし、正当な理由により試験を受けられなかった場合には追試を行う。
4. 試験開始時刻から30分以上遅刻した場合、試験は受けられない。開始から30分間は退出不可。
5. 携帯電話等の使用を禁止する。時計としての利用も許可しない。

なお、7月27日(水)に実施される期末試験の解答と評価(第16回)にも必ず出席すること。  
この授業終了後は、正当な理由がない限り、成績に関する異議申し立てを受け付けません。

**【警告】**7月22日(金)13時をもって遅延提出および再提出によるレポートの受領を終了します。これ以降は、正当な理由がない限り、遅延提出および再提出によるレポートの受領を行いません。再度、レポート01からレポート14まで提出済みであることを確認し、提出していないレポートがあれば、遅延提出理由書を添付し(再提出は除く)、速やかに提出してください。

— 「2016年度 プログラミングI」学習支援ページ URL —  
<http://kouyama.sci.u-toyama.ac.jp/main/education/2016/prog1/>

文責：幸山 直人  
2016年6月20日